

平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況（非連結）

平成19年8月10日

上場会社名 株式会社シダー 上場取引所 J Q  
 コード番号 2435 URL <http://www.cedar-web.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山崎 嘉忠  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松尾 剛 TEL (093) 513-7855

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の業績（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

(1) 経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	1,346	33.0	△72	—	△73	—	△46	—
19年3月期第1四半期	1,012	△3.1	△40	—	△40	—	△23	—
19年3月期	4,519		△403		△406		△247	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	△8	03	—	—
19年3月期第1四半期	△4	14	—	—
19年3月期	△43	08	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年3月期第1四半期	5,137		803		15.6		140	07
19年3月期第1四半期	4,445		1,073		24.1		187	05
19年3月期	4,858		849		17.5		148	10

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第1四半期	△26		△42		211		568	
19年3月期第1四半期	—		—		—		—	
19年3月期	△456		△490		772		427	

(注) 19年3月期第1四半期のキャッシュ・フローは開示しておりません。

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金
(基準日)	第1四半期末
	円 銭
平成19年3月期第1四半期	— —
平成20年3月期第1四半期	— —

## 3. 平成20年3月期の業績予想 (平成19年4月1日 ~ 平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	2,780	32.0	△50	—	△60	—	△40	—	△6	97
通期	5,930	31.2	160	—	150	—	80	—	13	94

## 4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のおが国経済は、好調な企業収益や設備投資の増加、雇用情勢の回復を背景に、緩やかな景気の拡大を継続しております。

介護サービス業界では、平成18年4月より施行された介護保険制度に基づき、介護予防のための効果的、効率的な自立支援等の新しいサービスへの取り組みを進めております。一方では、大手介護事業者の不正事件等により、介護サービスの質の向上や法令遵守に対する管理体制の強化が求められております。また、都市部における介護職員の人材不足も問題化しており、業界を取り巻く環境は厳しい状況の中、推移いたしました。

このような状況のもと当社におきましては、一部のサービスでは利用者の予防給付への移行による利用単価の低下もみられますが、人員配置や業務手順の見直し等、効率的な運営に取り組むことで収益の改善を図っております。また、施設事業では、18年度に開設した有料老人ホームの入居率を向上させるため、利用者の獲得に向けて積極的な営業展開を実施し、初期費用の早期回収を目指しております。

この結果、当第1四半期の売上高は1,346百万円(前年同期比33.0%増)となりましたが、介護職員の雇用を確保するための人件費や求人費用及び広告宣伝費等を計上しており、営業損失は72百万円(前年同期は営業損失40百万円)、経常損失は73百万円(前年同期は経常損失40百万円)、当期純損失は46百万円(前年同期は当期純損失23百万円)となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 財政状態の変動状況

当第1四半期における総資産は、前期末に比べて279百万円増加して5,137百万円となりました。これは、主に現金及び預金の増加及び売上増に伴う売掛金の増加によるものであり、負債につきましては、短期借入金増加などにより、前期末に比べて325百万円増加し、4,333百万円となっております。また、株主資本は、利益剰余金の減少などにより、前期末に比べて46百万円減少して803百万円となりました。この結果、自己資本比率は15.6%となっております。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、568百万円となりました。また、当第1四半期における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期における営業活動の結果、使用した資金は、26百万円となりました。その主な内訳は、収入要因として減価償却費30百万円、支出要因として、税引前当期純損失73百万円であります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期における投資活動の結果、使用した資金は、42百万円となりました。その主な内訳は、有形固定資産の取得による支出52百万円であります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期における財務活動の結果、獲得した資金は、211百万円となりました。その主な増加要因は、短期借入れによる収入400百万円であります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

平成19年5月15日に発表しました「平成19年3月期 決算短信」に記載の業績予想は、中間期、通期とも変更はありません。

### 4. その他

#### (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

1. 法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
2. 引当金の計上基準の一部に簡便な方法を採用しております。

#### (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

1. 法人税法の改正に伴い、当事業年度より、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産につきましては、改正後の法人税法に基づき減価償却費を計上しております。なお、この変更による損益への影響は軽微であります。
2. 消費税等の会計処理につきましては、従来、税込方式によっておりましたが、当事業年度より税抜方式に変更しております。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額(千円)	金額(千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額(千円)
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金	496,022	568,984	72,962		427,227
2 売掛金	702,025	927,686	225,661		839,044
3 前払費用	34,467	57,434	22,966		54,187
4 未収法人税等	—	71,889	71,889		71,889
5 繰延税金資産	73,472	83,191	9,718		118,310
6 その他	1,302	678	△624		1,559
貸倒引当金	△2,458	△3,376	△917		△3,079
流動資産合計	1,304,831	1,706,487	401,655	30.8	1,509,138
II 固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物	1,189,107	1,115,510	△73,597		1,131,583
(2) 土地	870,731	917,333	46,601		870,731
(3) その他	141,350	128,814	△12,536		136,485
有形固定資産合計	2,201,190	2,161,658	△39,531	△1.8	2,138,800
2 無形固定資産	18,440	18,547	106	0.6	18,860
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	100,000	96,459	△3,540		96,459
(2) 長期前払費用	50,252	105,124	54,871		107,871
(3) 敷金・保証金	730,369	842,567	112,197		845,190
(4) 繰延税金資産	40,392	206,752	166,360		141,880
投資その他の資産合計	921,014	1,250,902	329,888	35.8	1,191,402
固定資産合計	3,140,645	3,431,108	290,463	9.2	3,349,063
資産合計	4,445,477	5,137,596	692,119	15.6	4,858,202

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
(負債の部)					
I 流動負債					
1 買掛金	74,979	88,960	13,980		83,199
2 短期借入金	974,000	960,000	△14,000		662,000
3 一年以内返済 予定長期借入金	299,414	504,534	205,120		466,894
4 未払金	59,836	84,626	24,790		67,041
5 未払費用	208,870	259,816	50,945		97,923
6 未払法人税等	7,974	5,750	△2,224		10,380
7 賞与引当金	23,321	29,467	6,145		105,685
8 その他	11,802	35,724	23,922		37,966
流動負債合計	1,660,199	1,968,879	308,680	18.6	1,531,090
II 固定負債					
1 長期借入金	1,572,507	2,137,973	565,466		2,262,259
2 退職給付引当金	100,030	116,274	16,244		114,851
3 その他	39,466	110,753	71,286		100,183
固定負債合計	1,712,003	2,365,000	652,996	38.1	2,477,293
負債合計	3,372,203	4,333,880	961,676	28.5	4,008,384
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金	432,280	432,280	—		432,280
2 資本剰余金 資本準備金	308,030	308,030	—		308,030
資本剰余金合計	308,030	308,030	—	—	308,030
3 利益剰余金					
(1) 利益準備金	1,000	1,000	—		1,000
(2) その他利益剰余金 繰越利益剰余金	331,963	62,406	△269,557		108,508
利益剰余金合計	332,963	63,406	△269,557	△81.0	109,508
株主資本合計	1,073,273	803,716	△269,557	△25.1	849,818
純資産合計	1,073,273	803,716	△269,557	△25.1	849,818
負債、純資産合計	4,445,477	5,137,596	692,119	15.6	4,858,202

(2) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金額(千円)	金額(千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額(千円)
I 売上高	1,012,510	1,346,375	333,864	33.0	4,519,420
II 売上原価	966,527	1,328,907	362,380	37.5	4,588,788
売上総利益又は 売上総損失(△)	45,983	17,467	△28,515	△62.0	△69,368
III 販売費及び 一般管理費	86,810	89,835	3,025	3.5	334,024
営業損失(△)	△40,826	△72,367	△31,540	—	△403,393
IV 営業外収益	6,206	8,007	1,800	29.0	31,416
V 営業外費用	5,437	9,445	4,007	73.7	34,033
経常損失(△)	△40,057	△73,805	△33,747	—	△406,010
VI 特別利益	125	—	△125	—	166
VII 特別損失	—	—	—	—	2,141
税引前四半期(当期) 純利益	△39,931	△73,805	△33,873	—	△407,984
税金費用	△16,169	△27,702	△11,533	—	△160,767
四半期(当期) 純損失(△)	△23,761	△46,102	△22,340	—	△247,217

(3) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参考) 前期 (平成19年3月期)
区分	金額(千円)	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純損失(△)	△73,805	△407,984
減価償却費	30,909	143,069
貸倒引当金の増加額	296	1,679
賞与引当金の減少額	△76,218	△11,076
退職給付引当金の増加額	1,422	20,763
受取利息	△1,783	△5,523
投資事業組合評価損	—	3,540
支払利息	9,445	29,017
固定資産売却益	—	△41
固定資産除却損	—	2,141
売上債権の増加額	△88,641	△114,258
仕入債務の増加額	5,760	33,734
その他	185,955	22,716
小計	△6,658	△282,220
利息の受取額	0	310
利息の支払額	△9,668	△28,625
法人税等の支払額	△10,380	△145,971
営業活動によるキャッシュ・フロー	△26,707	△456,506
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資事業組合への支出	—	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△52,126	△73,721
有形固定資産の売却による収入	—	451
無形固定資産の取得による支出	△623	△4,830
敷金等の支払による支出	—	△396,808
敷金等の返還による収入	200	6,000
預り保証金の返還による支出	△12,018	△14,400
預り保証金の預かりによる収入	21,688	92,883
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,880	△490,425

	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参考) 前期 (平成19年3月期)
区分	金額(千円)	金額(千円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400,000	1,684,000
短期借入金の返済による支出	△102,000	△1,652,000
長期借入れによる収入	—	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△86,646	△325,205
配当金の支払による支出	△9	△28,594
その他	—	△5,706
財務活動によるキャッシュ・フロー	211,344	772,493
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
V 現金及び現金同等物の増加額 (又は減少額)	141,757	△174,438
VI 現金及び現金同等物の期首残高	427,227	601,666
VII 現金及び現金同等物の期末残高	568,984	427,227

(4) 事業部門別売上高

当第 1 四半期の販売実績を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	当四半期 (20年 3 月期 第 1 四半期)		(参考) 前期 (19年 3 月期)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
デイサービス事業	682,629	50.7	2,780,663	61.5
施設事業	494,380	36.7	998,111	22.1
訪問看護事業	90,960	6.8	367,284	8.1
ヘルパー事業	34,843	2.6	148,831	3.3
ケアプラン事業	43,560	3.2	224,527	5.0
合計	1,346,375	100.0	4,519,420	100.0

1. 19年 3 月期の売上高には、一部消費税等を含んでおります。
2. 四半期の販売実績につきましては、当第 1 四半期より開示を行っておりますので、前年同期の実績は記載していません。